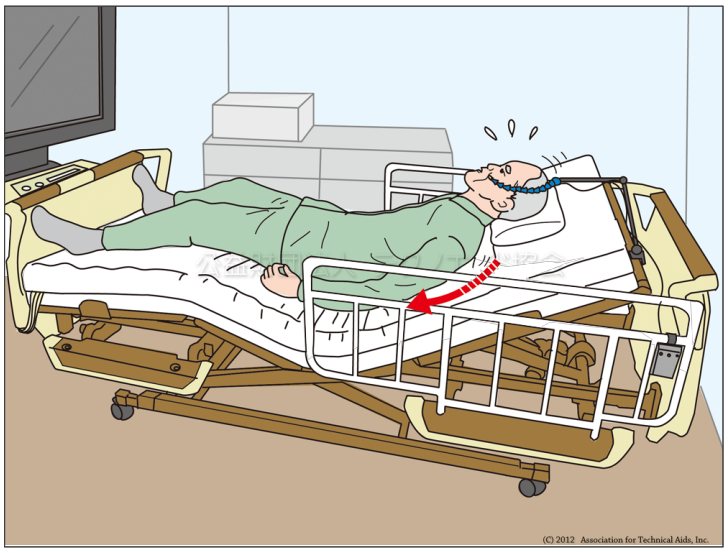
Case：54

ベッドの背上げをした際、身体がズレて、環境制御装置のスイッチが使用しづらくなる

場面の説明

ベッドの背上げにより、身体が足側にズレてしまい、顔の近くに固定してある環境制御装置のスイッチと離れてしまった



利用シーン	起居・就寝 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

わずかな動きをとらえるスイッチの位置は微妙な調整が必要です。ベッドの背上げ操作など姿勢を変える際にはその都度スイッチの位置の調整をする必要があります。またエアマットなどの利用でゆっくりと徐々にスイッチの位置がずれてしまう場合は、テープで肌に固定するタイプのスイッチの利用が解決になる場合もあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

モノ：エアマットだと、ベッドの背上げ時に身体がズレやすい
管理：環境制御装置のスイッチを利用者にしっかり固定していない

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：54

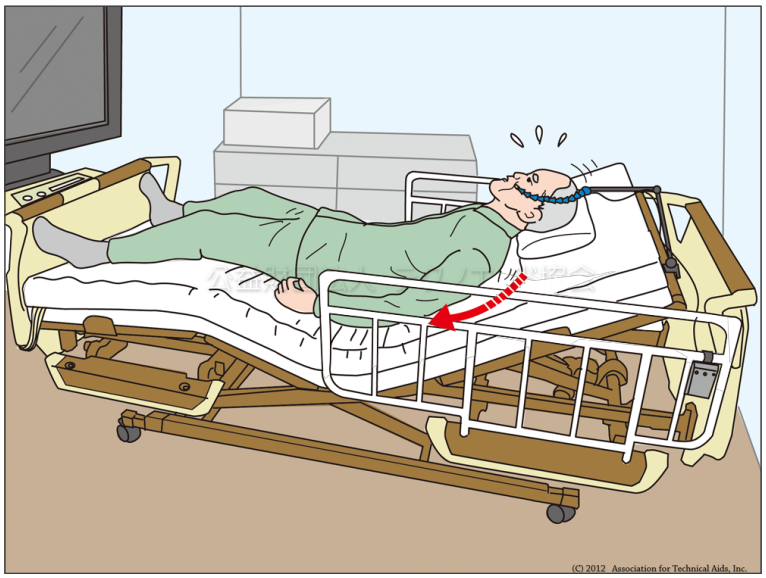
ベッドの背上げをした際、身体がズレて、環境制御装置のスイッチが使用しづらくなる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

ベッドの背上げにより、身体が足側にズレてしまい、顔の近くに固定してある環境制御装置のスイッチと離れてしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.